

| | | | | |
|------------|---|--------------------------------------|----------|----|
| 科目名 | 演習1 | | | |
| 開講学期 | 1年次秋学期 | | | |
| 教員氏名(カナ) | 田中辰雄、浮田善文、洪瀬雅彦 | | | |
| 単位数 | 2 | | | |
| 授業実施方法 | 対面講義 | | | |
| 教育の実務経験の有無 | 無 | ノートPCの利用 | 毎回の授業で使用 | |
| 実務経験 | 該当なし | | | |
| キーワード | 商学、マーケティング、データサイエンス | アクティブラーニングの実施 | 有 | |
| 授業の目的と概要 | 本講義は、1年生を対象とする。学生はまず自分の学士課程での卒業論文あるいは関心に基づいて教員が指定するテーマの論文について報告し、議論する。そのうえで、自分の興味関心に沿った論文を読んで報告してもらう。ここから自分の修士論文のテーマのヒントを見つけてもらう。 | | | |
| 到達目標 | 1 | 与えられたテーマについて議論ができる | | |
| | A+ | 与えられたテーマについて十分に議論ができる | | |
| | A | 与えられたテーマについて議論ができる | | |
| | B | 学士課程での卒業論文など、自分のやってきたことについて十分に議論ができる | | |
| | C | 学士課程での卒業論文など、自分のやってきたことについて議論ができる | | |
| | F | 学士課程での卒業論文など、自分のやってきたことについて議論ができない | | |
| | 2 | 教員の指定する重要論文について報告・討議し、理解する | | |
| | A+ | 教員の指定する重要論文について報告・討議、理解して独自の解釈を出す | | |
| | A | 教員の指定する重要論文について報告・討議し、理解する | | |
| | B | 教員の指定する重要論文について討議し、理解する | | |
| | C | 教員の指定する重要論文について討議する | | |
| | F | 教員の指定する重要論文について報告も討議も理解も不十分である | | |
| | 3 | | | |
| | A+ | | | |
| | A | | | |
| | B | | | |
| | C | | | |
| | F | | | |
| | 4 | | | |
| | A+ | | | |
| A | | | | |
| B | | | | |
| C | | | | |
| F | | | | |
| 5 | | | | |
| A+ | | | | |
| A | | | | |
| B | | | | |
| C | | | | |
| F | | | | |
| 履修上の注意 | 必修科目とする | | | |
| 教科書・教材 | | | | |
| 基本方針 | 教材は講義中に指定する | | | |
| 必須/推奨 | 書籍名/資料名 | 出版社 | 出版年月 | 備考 |
| 必須 | 学生の関心にあわせて適宜講義中に紹介する | | | |
| 推薦 | | | | |

| | | |
|----------------------------------|---|------|
| 参考文献 | | |
| ディプロマポリシーに掲げる能力と授業の対応 | | |
| ディプロマポリシー（大分類） | | 対応 |
| D1 | 社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力 | ◎ |
| D2 | 課題解決に役立つデータサイエンスに関する汎用的な知識とスキル | |
| D3 | (1) の能力を起点に (2) を重ね合わせ、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を具体的に解決し得る方策を導き出す能力・スキル | ○ |
| D4 | (3) で得られたソリューション（解決策）を社会等に訴求すべく具体的に働きかけるコミュニケーション力と行動力を備えたスキル | ○ |
| D5 | データ社会において (1) ～ (4) の一連のプロセスで発生し得る倫理上の課題を適切に認識する能力を備えたスキル | |
| 成績評価方法 | 学生発表（100%） | |
| 試験・レポート等に対するフィードバック | | |
| 授業時間外の事前事後学修 | | |
| | 内容 | 学習時間 |
| 事前学習 | 指定文献を読んで要点をまとめ自分の見解を用意する | 5 h |
| 事後学修 | 演習での講義を要約し、学習したことをまとめておく | 1 h |
| 授業計画 | | |
| 1 | 学生の自己紹介、興味関心の報告、学生の報告日の決定 | |
| 2 | 教員が事前に指定した課題論文もしくは専門書を輪読した上で、討論を行い理解を深める。（テーマ①） | |
| 3 | 課題論文もしくは専門書の内容について、学生が設定したテーマでまとめ、資料を作成する。（テーマ①） | |
| 4 | 課題論文もしくは専門書の内容について、作成した資料を用いて発表を行うとともに、その発表内奥について討議する。（テーマ①） | |
| 5 | テーマ①の課題論文もしくは専門書の内容について、改めて教員が解説し、討議する。また、次回のテーマ②の課題論文・専門書について指定する。 | |
| 6 | 教員が事前に指定した課題論文もしくは専門書を輪読した上で、討論を行い理解を深める。（テーマ②） | |
| 7 | 課題論文もしくは専門書の内容について、学生が設定したテーマでまとめ、資料を作成する。（テーマ②） | |
| 8 | 課題論文もしくは専門書の内容について、作成した資料を用いて発表を行うとともに、その発表内奥について討議する。（テーマ②） | |
| 9 | テーマ②の課題論文もしくは専門書の内容について、改めて教員が解説し、討議する。また、次回のテーマ③の課題論文・専門書について指定する。 | |
| 10 | 教員が事前に指定した課題論文もしくは専門書を輪読した上で、討論を行い理解を深める。（テーマ③） | |
| 11 | 課題論文もしくは専門書の内容について、学生が設定したテーマでまとめ、資料を作成する。（テーマ③） | |
| 12 | 課題論文もしくは専門書の内容について、作成した資料を用いて発表を行うとともに、その発表内奥について討議する。（テーマ③） | |
| 13 | テーマ③の課題論文もしくは専門書の内容について、改めて教員が解説し、討議する。 | |
| 14 | 3つのテーマを踏まえ、研究内容に関するまとめと討議を行う。 | |
| SDGsとの関連性 | | |
| 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基礎をつくろう | | |